

パブリックコメントによる意見募集結果

1) 目的

パブリックコメント（意見公募手続）は、行政等が意思決定する際の政策等の案を事前に公表し、その案について広く市民からのご意見や情報を募集するものであり、「対馬市地域公共交通総合連携計画（素案）」について、パブリックコメントを実施しました。

2) 実施期間

平成21年1月12日（金）～平成21年1月26日（金）

3) ご意見募集方法

- ・対馬市ホームページ
- ・対馬市役所、各地域活性化センター、出張所に設置（11ヶ所）

4) 公募結果とご意見に対する市の考え方

パブリックコメントを実施した結果、2名の方から5項目10件のご意見をいただきました。ご意見に対する市の考え方（方針）は、次のとおりです。

素案該当項目	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
55 ページ 小網循環線・廻線 の再編	市営渡海船の仁位港到着に合わせて、仁位バス停への連絡便を新たに設定してほしい。	路線の新設にあたっては、新たな経費負担が生じてまいりますので、手法や導入の可否を含め慎重に検討してまいります。
	「将来の市営渡海船の効率化等を見据え、・・・」の「効率化」が「合理化」を考えさせますが、市営渡海船はバス接続や広報などの改善で更なる観光活用が期待できる対馬の財産だと思っておりますので、表現の改善を。	市営渡海船の観光活用については、定期航路運航の合間に周遊観光など貸切運航を行っており、観光振興または航路維持の観点からも、PR活動を充実することは市としても必要と考えております。 「効率化」の表現につきましては、後段のような理由から「合理化」も含まれますが、観光振興の観点から船舶の有効活用を進めることも必要との考えを含めておりますので、素案のとおりとさせていただきます。 市営渡海船は、渡船施設の老朽化や生活交通手段としての利用者減少などから、市営渡海船の見直しについても将来的な問題として生じてくることは、多分に推測される事柄であり、これに対応するための移動手段確保策等について検討を行うておくことは必要と考えております。ただし、本計画の事業として市営渡海船に係る事業を実施するものではありません。

素案該当項目	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
60 ページ 上対馬病院線、鰐浦線、上対馬高校線の再編	比田勝・鰐浦間の循環運行が実施されることについて、高齢者の方々や免許を所持していない主婦にとってはありがたい。また、比田勝終点の路線について、上対馬病院を終点とした統合を行うことも利便性向上に繋がる。	系統の統合や循環経路の運行について、計画に沿って進めてまいりたいと考えております。
62 ページ 利用頻度向上のための新サービスの導入	いずれも実施してみる価値のある項目だと思う。特に、環境対策として全市的なノーマイカーデーの導入に興味がある。時間のある人については、バスに乗ることで夫婦、家族と違った時間を共有でき、1日の過ごし方も変わってくると思う。 このようなソフト面の施策の実施にあたっては、市民への十分な周知を図ることが必要。	バス利用者の減少に歯止めがかからない現状において、「持続可能な公共交通」を実現するためには新規利用者の開拓、利用頻度の向上が必要不可欠な問題となっております。 新サービス等の導入を実施する際には、市報、パンフレット、CATVなど多様な広報媒体を活用しながら、周知を図ってまいります。
64 ページ 他公共交通機関との乗り継ぎ利便性の向上	空路福岡発最終便の遅れに柔軟に対応できるバスの設定を。 観光客の視点での市営渡海船とバスとの乗継改善を。 ①. 13:00 樽ヶ浜発の市営渡海船で仁位港に到着した観光客がバスで樽ヶ浜に戻ることができるように、現行縦貫線第3便との乗り継ぎを考慮したダイヤにしてほしい。	臨時運行等により飛行機遅延に対応できないかなどを含め検討してまいります。 ①について 縦貫線第3便は14:40 仁位発であり、市営渡海船の仁位港着は14:25であるため、縦貫線に乗り継ぐためには、接続便の新設が必要となりますが、路線の新設にあたっては、新たな経費負担が生じてまいりますので、手法や導入の可否を含め慎重に検討してまいります。

素案該当項目	ご意見の要旨	ご意見に対する市の考え方
<p>64 ページ</p> <p>他公共交通機関との乗り継ぎ利便性の向上</p>	<p>②. 14:40 仁位港発の市営渡海船で樽ヶ浜に到着した観光客がバスで空港に行けるよう、現行赤島行バスの樽ヶ浜 15:46 発を 15:50 頃発にしてほしい。</p> <p>③. 14:40 仁位港発の市営渡海船で樽ヶ浜に到着した観光客がバスで厳原方面に行けるような便を設定してほしい。</p>	<p>②について</p> <p>14:40 仁位港発市営渡海船の樽ヶ浜着は 15:45 であり、現状でも接続が図られておりますが、下船・乗車時間を勘案し、余裕をもって乗り継ぎが可能なダイヤ編成を行ってまいります。</p> <p>③について</p> <p>厳原方面への接続バスがない現状であります。縦貫線の経由地変更なども含め検討してまいります。</p> <p>いずれにいたしましても、バスと市営渡海船の接続につきましては、バスのみでなく市営渡海船のダイヤも含め、市と事業者が協調したダイヤ編成を行っていくことが必要と考えております。</p>
<p>66 ページ</p> <p>接客サービスの向上</p>	<p>ダイヤの設定や接遇、各種取り組みなどの参考に吉岐交通の視察を行っては。</p>	<p>接遇マナーについては、アンケート調査結果においても、厳しいご意見を多数いただいているところでございますので、事業者において接遇マナーの改善に真摯に取り組んでいただくよう要請いたします。</p> <p>視察の実施につきましては、事業者において検討いただきますが、事業者間において種々の会合も開催されておりますので、そのような機会を活用し取り組み事例や情報の共有を行っていただきたいと考えております。</p>
<p>その他</p>	<p>具体的なダイヤ設定などの段階で、島外の視点を入れるため転勤で対馬に来ている人を委員会等に加えることなどはできないか。</p>	<p>本協議会にはご意見の内容に該当する方も数名委員に就任いただいております。</p>